

## 「第2次南砺市総合計画の将来像（素案）」にかかるパブリックコメントの結果について

「南砺市総合計画の将来像（素案）」について、広く市民の意見を反映させるため、パブリックコメントを実施したところ、その結果は次のとおりでした。

- 1 募集案件  
「第2次南砺市総合計画の将来像（素案）」
- 2 募集期間
  - ・ 令和元年8月1日（木）から令和元年8月20日（火）まで
- 3 閲覧場所
  - ・ 市ホームページ
  - ・ 各行政センター、中央図書館及び地域包括ケアセンターの情報公開コーナー
- 4 ご意見の提出方法
  - ・ 郵送
  - ・ ファックス
  - ・ 電子メール
  - ・ 直接持参
- 5 提出されたご意見（件数）
  - ・ 7件（2人）
- 6 ご意見の内容  
別紙の通り
- 7 市の考え方（回答及び対応）  
別紙の通り

「第2次南砺市総合計画の将来像（素案）」に対して市民から提出されたご意見と市の回答について

令和元年9月9日

市長政策部 地方創生推進課

令和元年8月1日（木）から令和元年8月20日（火）にかけて実施した、「第2次南砺市総合計画の将来像（素案）」に対するパブリックコメントにつきまして、貴重なご意見をありがとうございました。

期間中に寄せられましたご意見は7件でした。

それらのご意見をまとめた内容と市の回答を公表いたします。

## 「第2次南砺市総合計画の将来像(素案)」についてのパブリックコメントの結果と市の回答

令和元年8月1日(木)から令和元年8月20日(火)まで実施した「第2次南砺市総合計画の将来像(素案)」についてのパブリックコメントにおいて、期間中に7件(2人)のご意見をいただきました。

いただいたご意見については、内容を分割し、類似したご意見ごとに分類し回答いたします。ご意見の内容と市の回答は次のとおりです。

受付番号	ご意見	市の回答及び対応
<b>■ パブリックコメントの実施について</b>		
1	第2次南砺市総合計画の「将来都市像」「将来人口」「基本目標」を同時に示し、改めてパブリックコメントを実施すべき。	令和2年1月前後に2回目のパブリックコメントを予定しています。
2	今回のパブリックコメントでは、第1次南砺市総合計画の実績や結果を示した資料であったり、現状の南砺市を示す具体的な数値の裏付けや基本的な南砺市の考え方、参考とすべき上位の計画といった、将来像を考える上での前提条件が見あたらない。 市民に対して根拠なき机上の空論(素案)のアイデアを公募しているように感じます。	第2次南砺市総合計画は、まずゴール(将来像)を定め、それを実現するために行政はどのようなことに取り組むべきか、という手順で検討する事としております。どのように実現するかを検討する際には具体的な数値に基づく事としておりますが、今回のパブリックコメントは「将来どんなまちに住んでいきたいか」というゴールについて、意見を募るものです。
<b>■ 将来人口について</b>		
3	目指すべきまちの姿は3万人都市を想定して示されたものか。	お見込みの通り、平成27年に策定した南砺市人口ビジョンにおける2060年人口目標30,000人は変えていません。
<b>■ 第1次南砺市総合計画について</b>		
4	第1次総合計画で目指した「平成28年に56,000人」を大きく下回った人口減少問題について、深刻に受け止めるべきではないだろうか。実績を基にして、過去に成果が出たので継続していきたいこと、成果がでなかったことや、生じている問題があるからこそ、課題解決に向けて総合計画の方針が決まるものではないのか。その方針が将来像につながるものではないのか。	第1次総合計画は行政の取り組みを網羅することを第1に策定されていた頃の計画であり、人口目標と基本目標や基本方針、施策の柱といった段階ごとの論理的な繋がりは求められていませんでした。また成果指標を定めていましたが、それらと人口との関連性についても求められていなかったことから、総合計画を進める事と人口との関係は密接なものではありませんでした。このような実績をふまえ、今回は「第2次南砺市総合計画の策定の進め方(方針)」について」を定め、策定に取り組んでいるところです。
<b>■ 将来像について</b>		
5	本文16行目に、「本市の目標とするのは、「育みたい」「住みたい」「つながりたい」場所として選ばれ」とあるが、誰に選ばれたいのか。対象が分からない。約6,500人増のターゲット層を詳細に教えてほしい。	該当の部分は、「選ばれ」るまちを目標として掲げることであり、対象をしいて言えば「ひと」になります。
6	世界遺産の五箇山合掌集落に加えてユネスコ無形遺産の城端曳山祭、日本遺産の井波彫刻は具体的に列挙し、内外にアピールしていく姿勢を見せるのが良いのではないのでしょうか。	ご意見の通り、南砺市には世界に誇る文化や日本を代表する文化が多くあり、お示しいただいた他にも演劇や「こきりこ」「麦や」「夜高」など各地域にそれぞれのかげがえのない財産があります。この将来像においては、その1つの例示として、認定されてからの時間も長く、内外によく知られている世界文化遺産を記載しているものです。

受付 番号	ご意見	市の回答及び対応
7	<p>■ 目指すべきまちの姿について</p> <p>「まち」はどこかにあるものでも誰かがつくって くれるものでもなく、今そこに生きている私たちと、 これから生まれ、育ってくる未来の市民が創って いくものです。 したがって、「目指すべきまちの姿」についても、 「まち」に焦点を当てるだけでなく、望ましい市民 像や育てたい人材像に言及した記述を入れてみ てはいかがでしょうか。</p>	<p>「まち」は市民が創るもの、ということについては その通りかと思えます。ここでは「まち」を、そこに 住む「ひと」やその営みをも含めた全体と考えて おりますので、その「目指すまち」を実現するた めのやるべきこととして、ご意見いただいた市民像 や人材像を含めるよう検討していきます。</p>